

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成19年7月1日

(2)調査対象期間 平成19年4月～6月期の実績および平成19年7月～9月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	18社	60.0%
水産業部会	30社	19社	63.3%
機械工業部会	30社	17社	56.7%
建設業部会	30社	18社	60.0%
観光・サービス業+諸業部会	30社	22社	73.3%
合計	150社	94件	62.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

－業況は横ばい次期好転見込み－

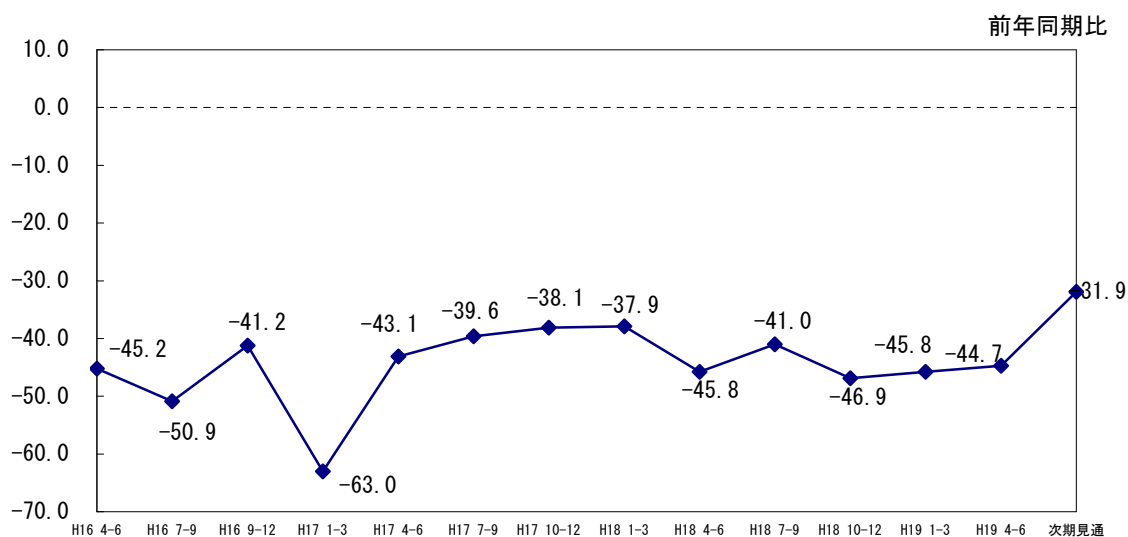
1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成19年4月～6月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△44.7**と前回調査時の△45.8より**0.9ポイントプラス**となりました。横ばい傾向の業況指数を見ると市内経済を取り巻く経営環境は依然厳しい状況が続いていることが再確認されます。

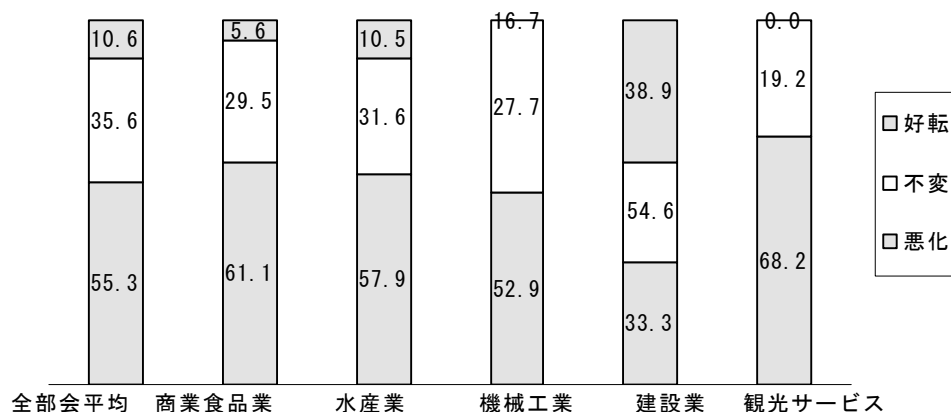
部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前期△55.0→今期△55.6]、水産業[前期△36.0→今期△47.4]、機械工業[前期△38.1→今期△52.9]、建設業[前期△36.4→今期+5.6]、観光・サービス・諸業[前期△66.7→今期△68.2]となりました。水産業・機械工業が大幅に悪化し、繁忙期であった観光・サービス・諸業においても業況が△60%台と依然厳しい状況が伺えます。そのほか建設業については前年同期マイナス指数がプラス指数へと転じており、夏場の作業時期に向けて業況が落ち着きつつあるように見えます。また、長らく動きの鈍かった借入指数が今期増加しており、運転・設備資金の借入が増加している状況がうかがえます。

来期(平成19年7月～9月)については、全体では今期と比べて**業況判断DIが12.8ポイント改善**するとの景気改善を期待する予測となっており、繁忙期を迎える水産業においては△47.4→+10.5と大幅な改善予想になっており、市内経済の牽引役として来期に期待されます。

業況推移(全業種平均D・I)



今期の業況(前年同期比)



経営上の問題点としては、販売量・単価ともに伸び悩む中、石油製品の高騰を筆頭に**仕入れ単価や人件費以外の諸経費の増加**を訴える声が多く寄せられています。また、需要が停滞している中で**ロードサイド大型店の出店による影響**や相次ぐ閉店で空き地が増え売上も減少しているとの声も寄せられ、同業者間での競合が激化しています。

このような中、オホーツクはまなす牛やホワイトカレーなどだんだんメニューが増えてきた**「オホーツク（紋別）ブランド」の確立**へ向けた取り組みもどんどん実施して欲しい、との声も寄せられています。設備投資については、前期同様、依然慎重な動きが続いています。

■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 55.6$ （前期 $\Delta 55.0$ 、来期見通し $\Delta 66.7$ ）〕

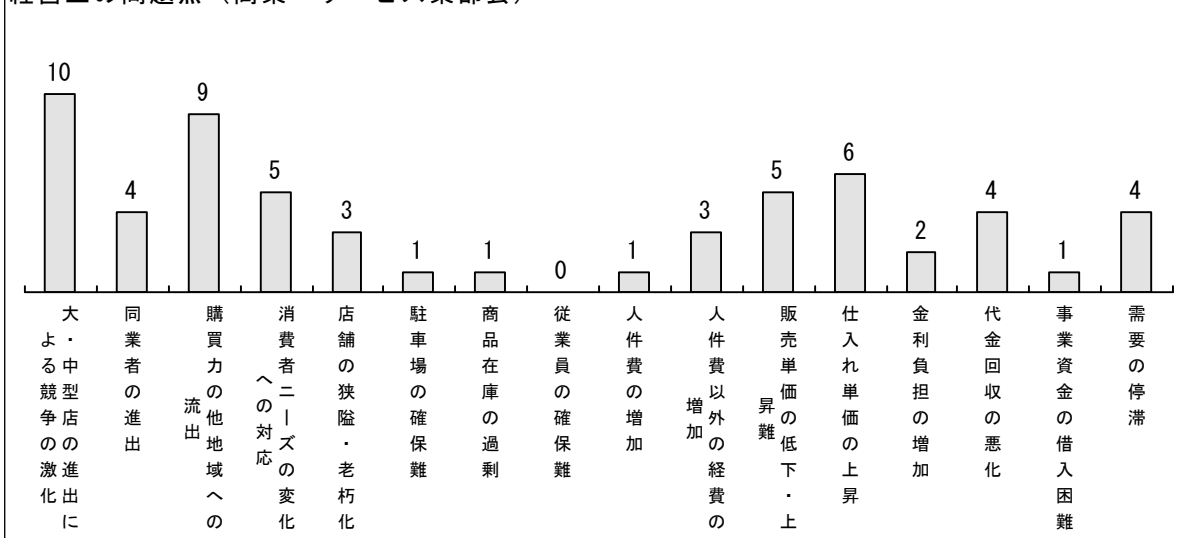
業況DI値（前年同期比）は、4期連続で大幅なマイナス値となり、依然厳しい状況で推移しています。春物を中心として売上の回復が期待されましたが、予想を下回る結果となっています。次期の見通しは11.1ポイント悪化すると予想されています。

経営上の問題点としては「大・中型店との競争の激化」「販売単価の低下」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・閉店などによる空き地空き店舗が増え商店街としての魅力がない。（小売）
- ・インターネット、通信販売による購買の流出（小売）
- ・土日がとても暇（小売）

経営上の問題点（商業・サービス業部会）



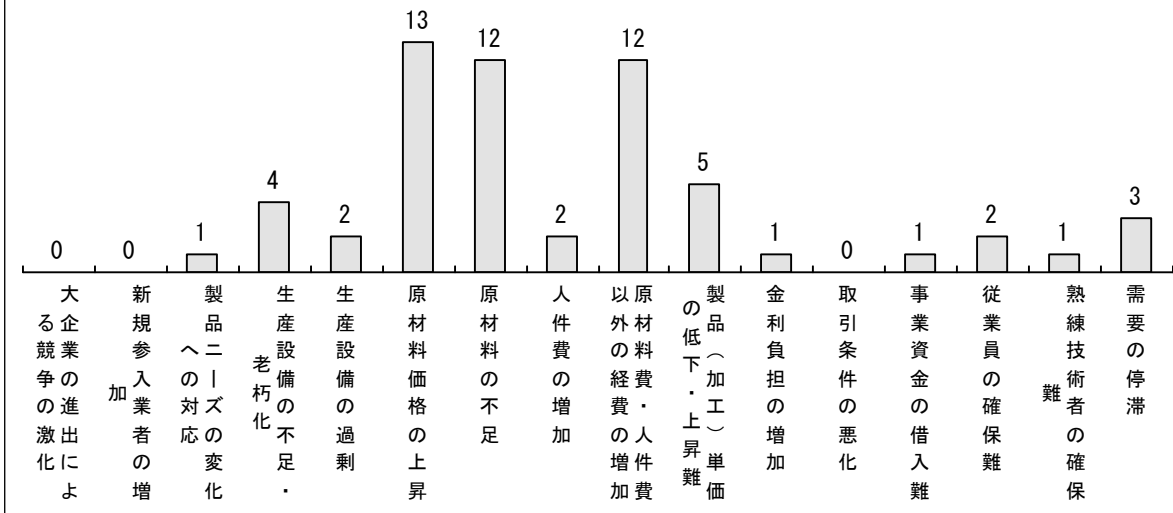
【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 47.4$ （前期 $\Delta 36.0$ 、来期見通し $+10.5$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期の $\Delta 36.0$ から $\Delta 47.4$ ポイントへと3期連続で悪化していますが、最盛期をむかえる来期見通しについては $+10.5$ ポイントとなっており今後の回復を見込んだ指数となっております。

《業界の問題点等》

- ・自然災害等の影響や原料難などにて短期的・長期的な事業の組み立てが年々難しくなり、安定した従業員の確保維持、待遇維持が難しくなってきた。（水産加工）

経営上の問題点（水産業部会）



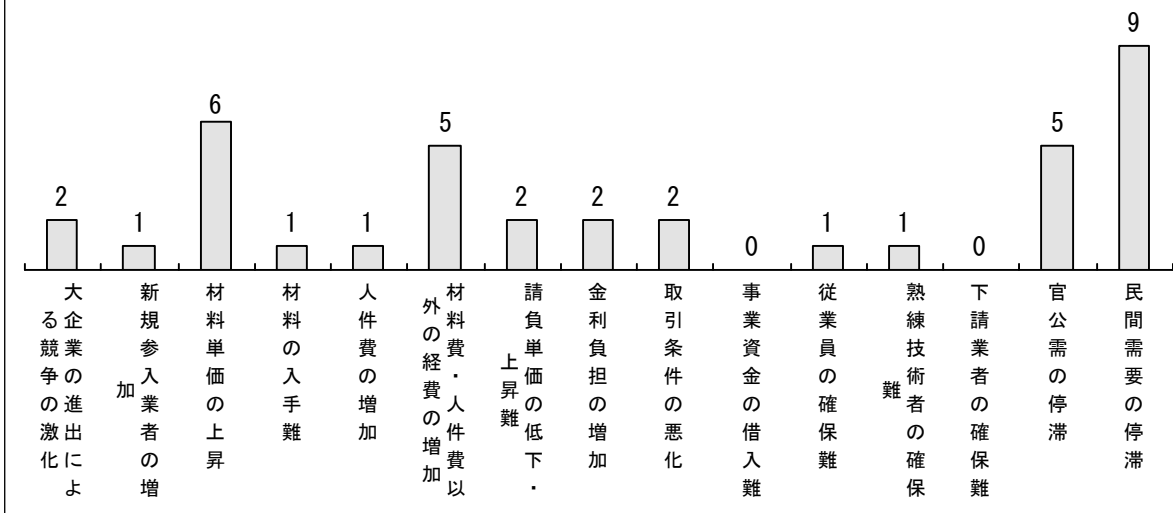
【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 52.9$ （前期 $\Delta 38.1$ 、来期見通し $\Delta 76.5$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前期比で14.8ポイント悪化、仕入単価・燃料費の値上がりから利益を確保することが困難な状況が見受けられます。次期見通しの業況判断・売上の両DIとも $\Delta 76.5$ となり、さらに業況悪化を懸念する見通しとなっています。

《業界の問題点等》

- ・仕事の全体量が減っている。（機械修理）
- ・原油高により、鋼材、ガスなど取扱品の段階的な値上がり。（鉄工）
- ・売上不振。人口減少への不安。（車両販売）

経営上の問題点（機械・工業部会）

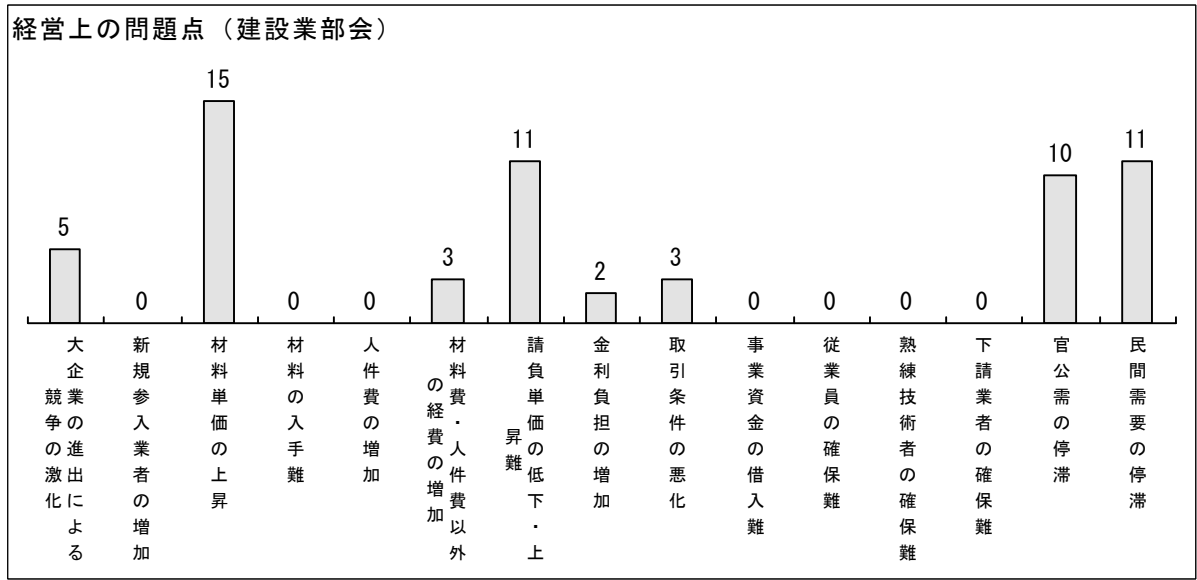


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $+5.6$ （前期 $\Delta 42.4$ 、来期見通し $+5.6$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）はマイナスを脱し回復しましたが、採算面資金繰り面を見ると厳しい状況にあるようです。来期は繁忙期の期待からプラス5.6ポイントと明るい見通しが寄せられ、さらに公共工事など官公需の高まりを期待する声が寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・大手ばかりではなく、小さな力のない会社も少しでもお金、客が流れるようにしたら良いのでは。今は“競”ではなく“助”である。（建築）
- ・材料費に原油の高騰がかなり響いています。（建設・電気工事）

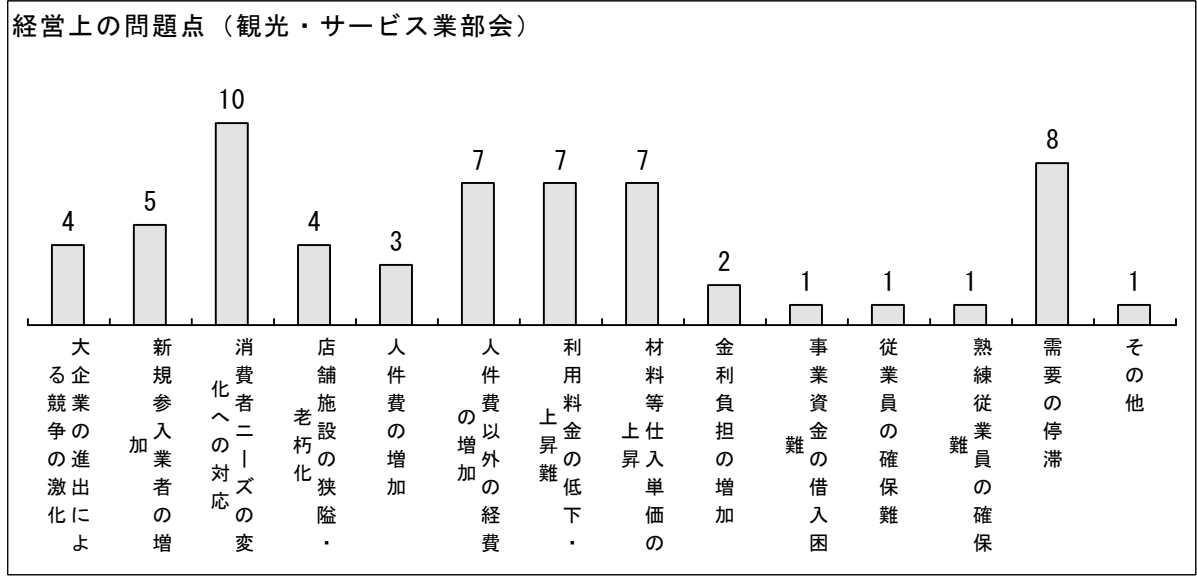


【観光・サービス部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△68.2（前期△66.7、来期見通し△36.4）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期よりも悪化。人口減少による業界への打撃が心配との声が寄せられています。経営上の問題点としては需要が停滞する中、「消費者ニーズの変化への対応」が経営の負担となってきています。

《業界の問題点等》

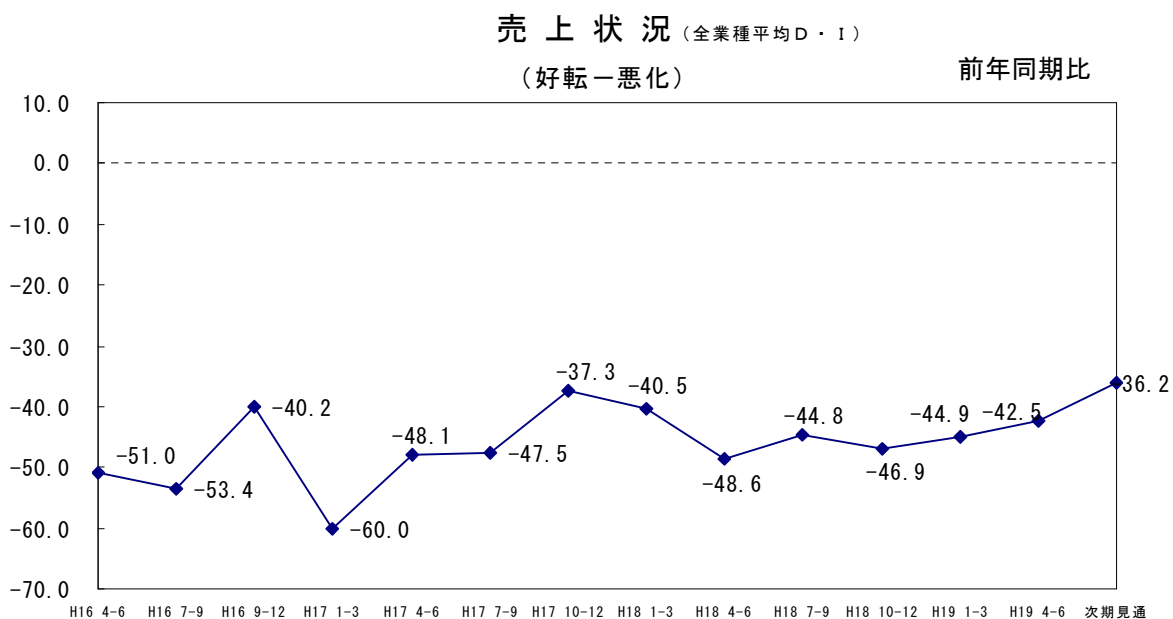
- ・ 紋別市の人口減少、商店街の危機的状況のこの様な中で、将来的に非常に大きな不安を感じています。でも、紋別には安全で鮮度の良い食材（漁業、酪農等）を提供出来る自然の宝があります。もっともっと活路を見いだしてほしいと思います。（飲食店）
- ・ 従業員の高齢化。全体が暗い感じの今年です。（サービス業）
- ・ 中央商店街区のますますの空洞化、ロードサイドへのチェーン店の更なる出店。（ホテル）
- ・ 不景気は我々だけではない。津々浦々に渡っています。常に職場では節約をし、無駄を少しでも省いて英知を絞って不況感から脱出を図るよう努力していく。（運送）



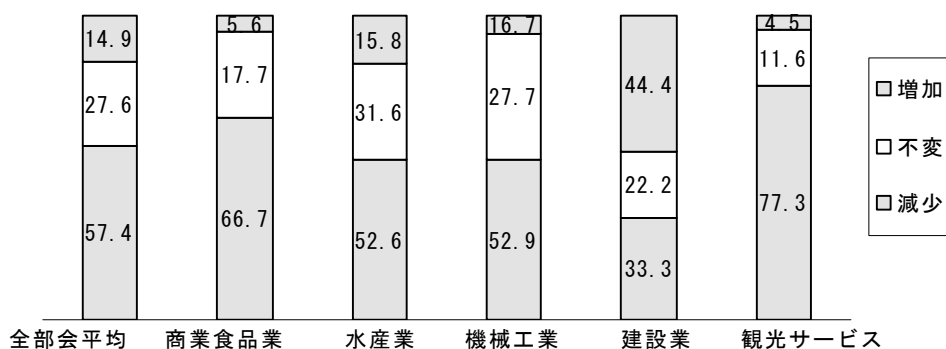
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 18 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）

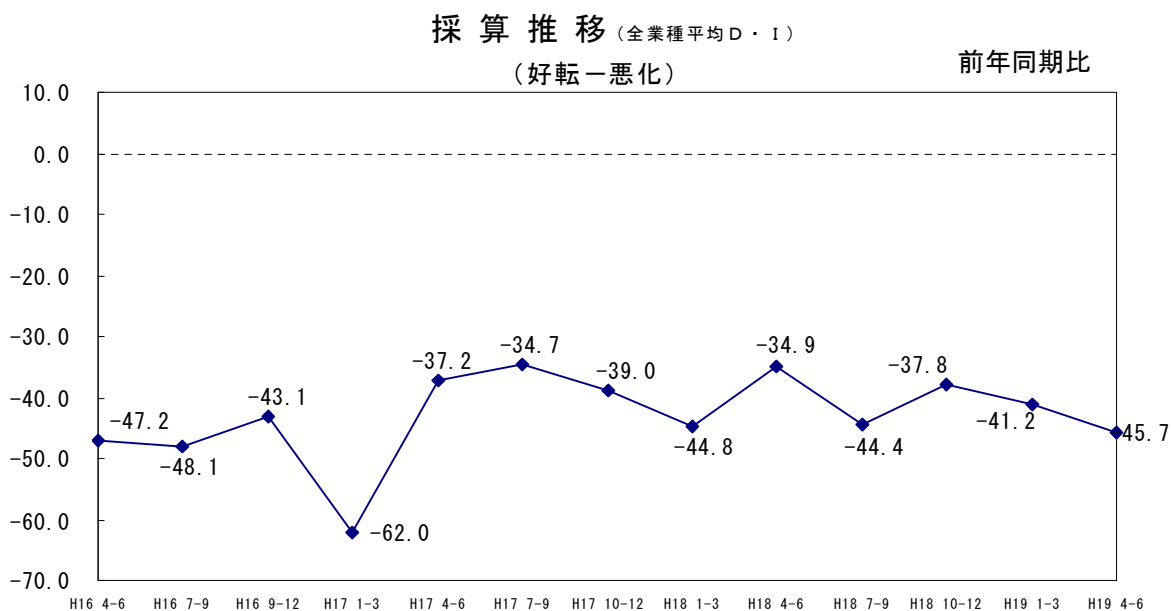


全業種平均でDI値 $\Delta 42.5$ 〔前回調査時(平成 19 年 1～3 月期 $\Delta 44.9$)より 2.4 ポイント改善。建設業がプラスへ転じた〕 来期は 6.3 ポイント回復の見込み。

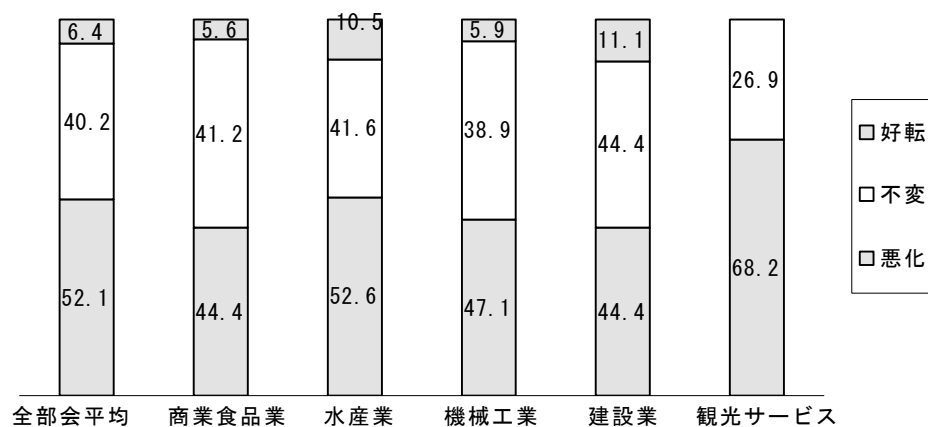
〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回 $\Delta 60.0 \rightarrow \Delta 61.1$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 40.0 \rightarrow \Delta 36.8$ 〕
機械工業〔前回 $\Delta 38.1 \rightarrow \Delta 47.1$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 36.4 \rightarrow +11.1$ 〕
観光・サービス業〔前回 $\Delta 71.4 \rightarrow \Delta 72.7$ 〕

(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成 18 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の採算水準）



今期の採算（前年同期比）

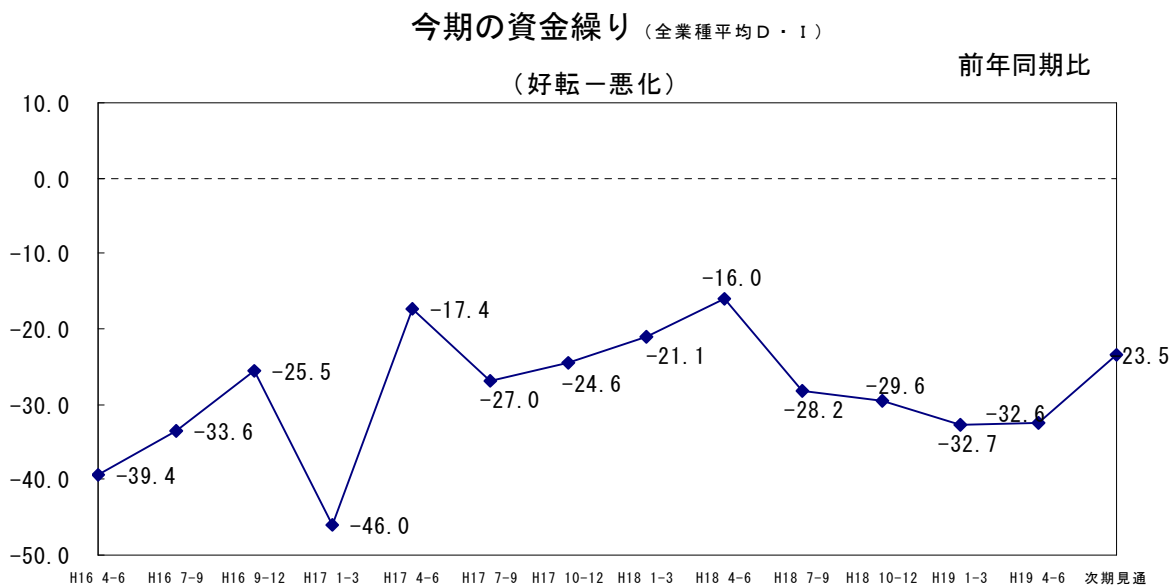


全業種平均で DI 値△45.7〔前回調査時（平成 19 年 1～3 月期△34.9）より 10.8 ポイントマイナス幅を拡大〕

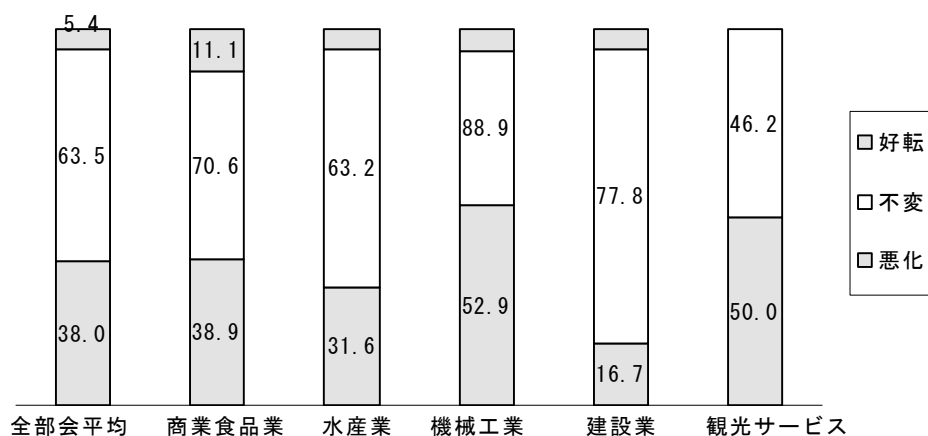
〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回△35.0→△38.9〕、水産業〔前回△32.0→△42.1〕
機械工業〔前回△47.6→△41.2〕、建設業〔前回△40.9→△33.3〕
観光・サービス業〔前回△61.9→△68.2〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成 18 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



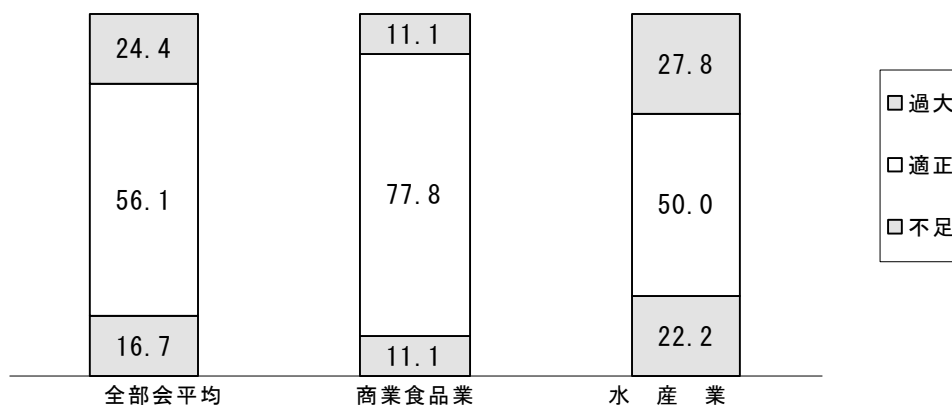
全業種平均で DI 値 $\Delta 32.6$ [前回調査時（平成 19 年 1～3 月期 $\Delta 16.0$ ）より 16.6 ポイントマイナス幅を拡大]

[部会別 DI 値] 商業・食品業 [前回 $\Delta 35.0 \rightarrow \Delta 27.8$]、水産業 [前回 $\Delta 24.0 \rightarrow \Delta 26.3$]
 機械工業 [前回 $\Delta 23.8 \rightarrow \Delta 47.1$]、建設業 [前回 $\Delta 36.4 \rightarrow \Delta 11.1$]
 観光・サービス業 [前回 $\Delta 47.6 \rightarrow \Delta 50.0$]

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 18 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



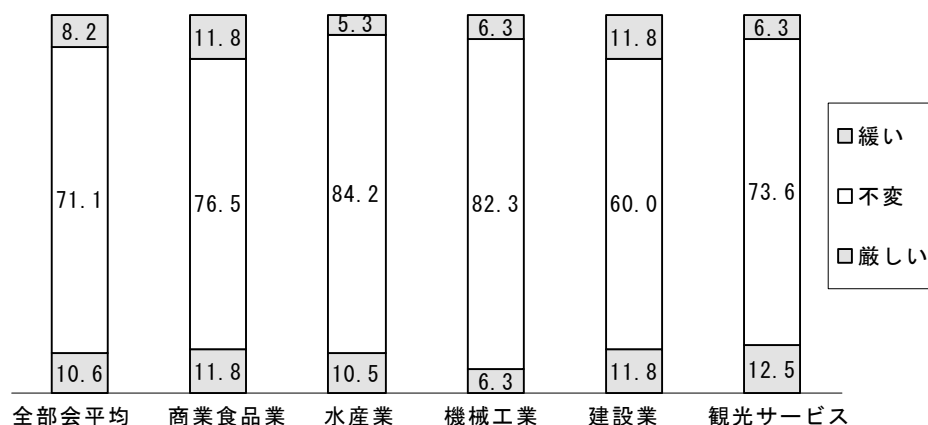
全業種平均でDI値+2.7〔前回調査時（平成 19 年 1～3 月期△29.4）より 32.1 ポイント在庫増加〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回 5.0→0.0〕、水産業〔前回 4.0→△5.6〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 18 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

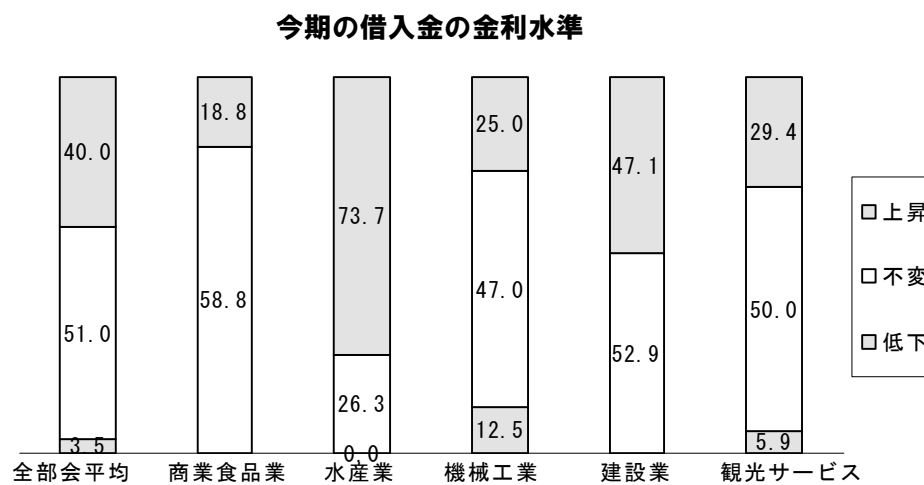
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で△2.4 ポイント。商業食品業 0.0 水産業△5.3 機械工業 0.0 建設業 0.0 観光サービス業△6.3。

(6) 今期の借入金の金利水準

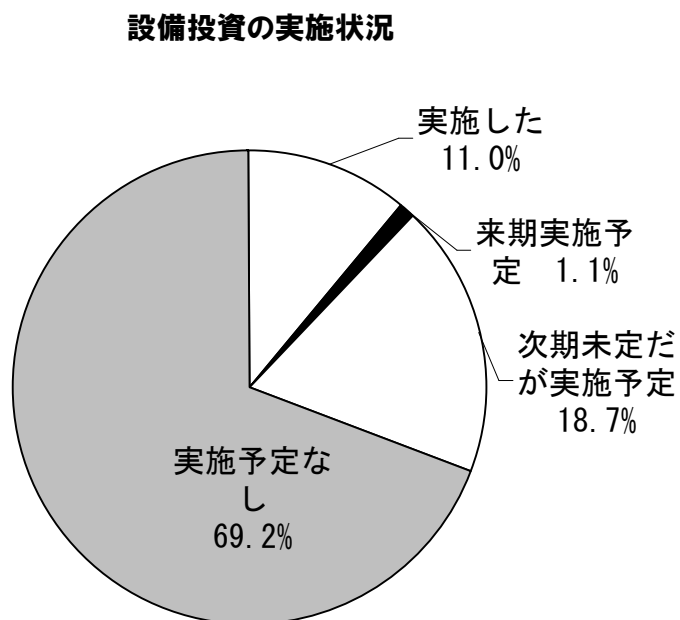
【前年同期比】（平成 18 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で+36.5。商業食品業 18.8 水産業 73.7 機械工業 12.5 建設業 47.1 観光サービス業 23.5。

(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

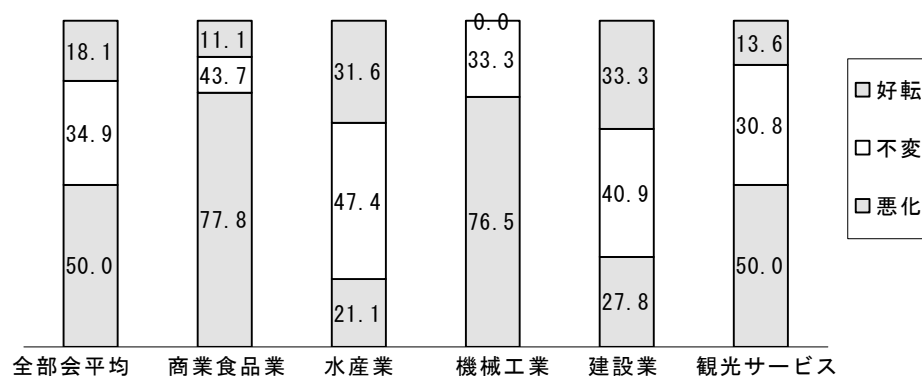


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成 19 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

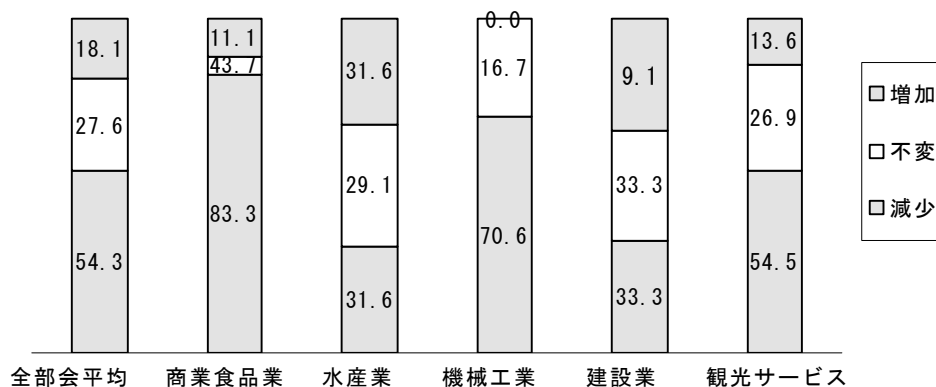


全業種平均 DI 値 Δ 31.9 [今期の業況（前年同期比 Δ 44.7）より 12.8 ポイント回復の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 19 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

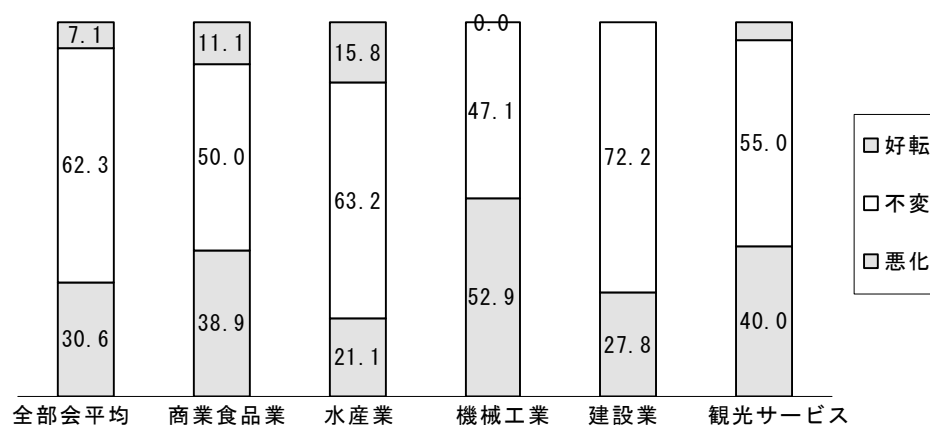


全業種平均 DI 値 Δ 36.2 [今期の売上高・生産高（前年同期比 Δ 42.5）より 6.3 ポイント回復の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 19 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 $\Delta 23.5$ [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 32.6$ ）より 9.1 ポイント改善の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	$\Delta 44.7$	$\Delta 55.6$	$\Delta 47.4$	$\Delta 52.9$	+ 5.6	$\Delta 68.2$
	来期見通し	$\Delta 31.9$	$\Delta 66.7$	+ 10.5	$\Delta 76.5$	+ 5.6	$\Delta 36.4$
売上 D・I	今期実績	$\Delta 42.5$	$\Delta 61.1$	$\Delta 36.8$	$\Delta 47.1$	+ 11.1	$\Delta 72.7$
	来期見通し	$\Delta 36.2$	$\Delta 72.2$	0.0	$\Delta 70.6$	0.0	$\Delta 40.9$
在庫 D・I	今期実績	+ 2.7	0.0	+ 5.6	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	$\Delta 45.7$	$\Delta 38.9$	$\Delta 42.1$	$\Delta 41.2$	$\Delta 33.3$	$\Delta 68.2$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	$\Delta 32.6$	$\Delta 27.8$	$\Delta 26.3$	$\Delta 47.1$	$\Delta 11.1$	$\Delta 50.0$
	来期見通し	23.5	$\Delta 27.8$	$\Delta 5.3$	$\Delta 52.9$	$\Delta 27.8$	$\Delta 35.0$
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	$\Delta 2.4$	0.0	$\Delta 5.3$	0.0	0.0	$\Delta 6.3$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	36.5	18.8	73.7	12.5	47.1	23.5
	来期見通し	—	—	—	—	—	—